

国語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

[知識及び技能]

既習の常用漢字に加え、その他の常用漢字を読むことや学年別配当漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で適切に使える力

| | 生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な改善策 | 手だての実施時期 | 成果検証（2月） |
|------|---|--|--|----------|
| 第1学年 | <ul style="list-style-type: none"> 文章における読解力・表現力の向上を図るためには、漢字の知識が必須であるが、その技能向上に関しては、漢字の読み書きでは足りず、漢字の意味もしっかりと習得しなければならない。また、文章表現の前提となる字を正確に綺麗に書くことも大切であるため、硬筆にも力を入れ、向上を図っていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 「書き写し読書」を朝読書の時間に継続して行うこと、硬筆の時間を使い、綺麗に漢字を書くことで、漢字にふれあい漢字と触れ合う機会を作る。 漢字レッスンを用いて、漢字の読み書き、漢字の意味を習得し、読解力、表現力の向上を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 毎朝 家庭学習、授業時開始5分 | |
| 第2学年 | <ul style="list-style-type: none"> ノートやプリントなどの提出物で漢字を使わない生徒が多数いる。教科書の本文に出てくる小学生で学習する漢字を読めない生徒もいる。 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、授業の最初5分間で漢字確認テストを行う。 漢字テストを継続的に行い、合格点に達しない生徒に対して、補習学習会を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 毎時間 | |
| 第3学年 | <ul style="list-style-type: none"> 作文や提出物で漢字を使わない生徒が多い。小学生で学習した漢字の読み書きが怪しい生徒も多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、授業内で漢字テストを実施する。 漢字テストを継続的に行い、合格点に達しない生徒に対して、補習学習会を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 毎時間 | |

■主体的・対話的で深い学びに関連して

1年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。

2年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。

3年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。

■1人1台端末の活用に関連して

1年 1人1台端末を用いて意見の共有を図る。

2年 1人1台端末を用いて意見の共有を図る。

3年 1人1台端末を用いて意見の共有を図る。